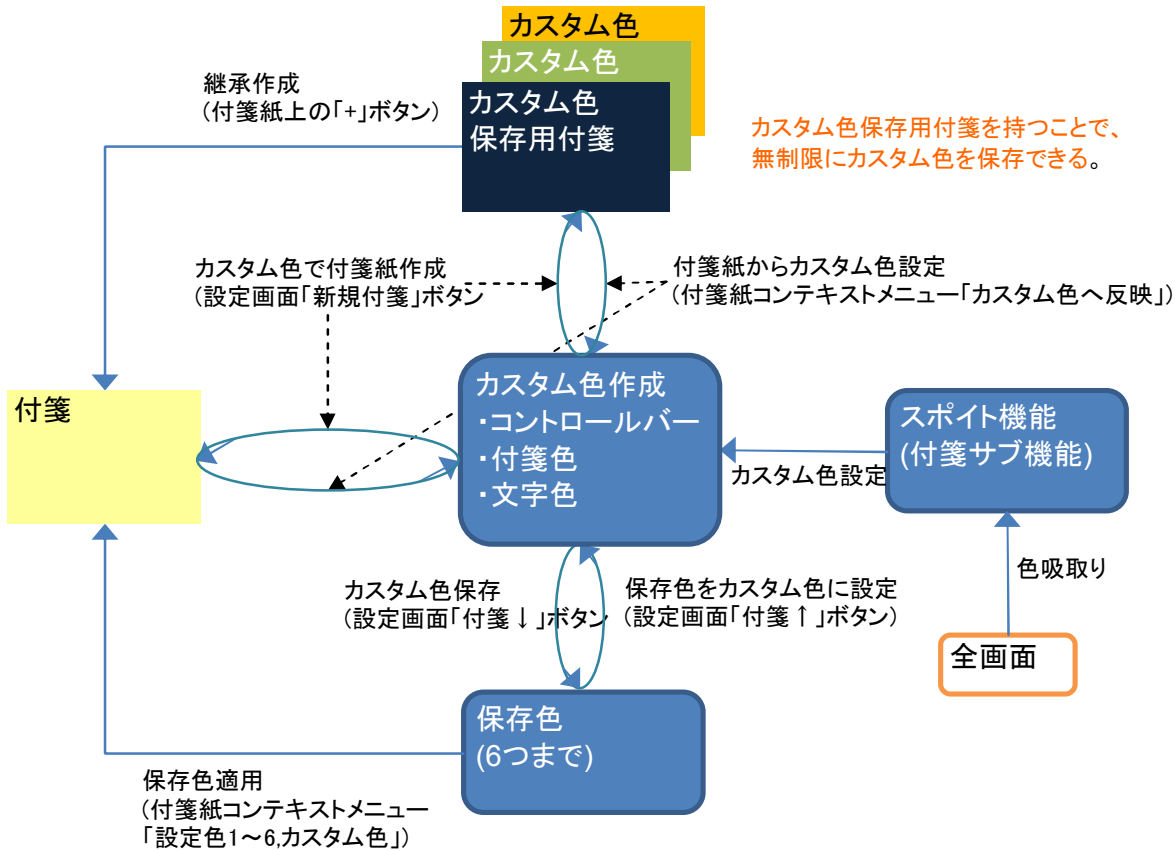


起動付箋紙Rundam概念説明

Rundamは24ビット色を文字および背景色に適用することができ、属性によりグループを形成する付箋紙ソフトです。ここでは、色を構成する流れと、属性によるグループ化の優位性について説明します。

1.付箋色管理



カスタム色保存用付箋紙作成手順

カスタム色保存用付箋紙は機能として持っているわけではありません。

カスタム色作成機能と属性機能を組み合わせて作成します。

[作成]

- (1) Rundam設定画面でカスタム色を作成します
- (2) 付箋を新規作成します。(Rundam設定画面の「新規付箋」)
- (3) 作成した付箋のプロパティを開き属性を「保存用」などわかり易い属性を付けます。
以降属性を「保存用」としたものと説明します。
- (4) Rundam設定画面の属性で「保存用」属性をコンボボックスから選択します。
[Always]属性を持った付箋と先ほど作成した付箋のみが表示されます。
- (5) この状態で新しい色を持った付箋を作成してゆきます。
属性は自動設定されるため、新規作成の付箋は全て「保存用」属性を持ちます。

[利用]

方法その1

- (1) Rundam設定画面の属性で「保存用」属性をコンボボックスから選択します。
- (2) 利用したい色を持つ付箋の+を押して新規付箋を作成します。
- (3) 新規作成した付箋のプロパティを開き「保存用」属性を削除します。
必要に応じて別の属性を設定します。

方法その2

- (1) Rundam設定画面の属性で「保存用」属性をコンボボックスから選択します。
- (2) 利用したい色を持つ付箋コンテキストメニューから「カスタム色へ反映」を選択します。
カスタム色が付箋の色と同じになります。
- (3) Rundam設定画面の「新規付箋を」押し付箋を作成します

2.属性による起動および付箋の管理優位性

グループAを作成後、グループBを作成するとした場合

グループによる分類の場合(一般付箋)

グループA付箋A2	付箋C
グループB付箋B2	

コピー



グループA付箋A2	付箋C
グループB付箋B2	付箋C

グループBに付箋Cが必要な場合コピーする必要がある
付箋Cが複数になるため管理しづらい

→片方の付箋Cに変更があった場合、再度コピーし直す必要がある。

属性による分類の場合(BPFrame)

グループA付箋A2	付箋C
グループA	グループA

← グループB属性付与

グループB付箋B2
グループB



グループA付箋A2	付箋C
グループA	グループA
	グループB

付箋CはグループAとグループBに属する

グループB付箋B2	付箋C
グループB	グループA
	グループB

グループBに付箋Cが必要な場合属性を付与すれば良い
付箋Cは1つのため管理し易い

→付箋Cに変更があっても、何もする必要は無い

3.ユーザー別推奨機能

	文字付箋	画像付箋	起動付箋	ファイル操作 補助付箋	RGB 色ブレンド	カメラ	スポイト	用途
一般	○	○	○	△	△	△	△	普通の付箋ソフトとして
ヘビー	○	◎	◎	◎	△	○	△	付箋ソフトおよびファイル整理など
ビジネス	○	◎	◎	○	△	◎	△	証跡などの基礎資料作成など
デザイナー	○	◎	◎	○	◎	○	◎	色を作成・取得するなど
ソフト開発者	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	色および部品作成など

4.使い始めるにあたって最低限知っておくべきこと

- (1)デフォルトのホットキーは[Ctrl]+[Alt]+[A]であり、付箋紙にフォーカスが無くても、このキーを押すことで付箋紙が表示/非表示される
付箋紙が無い場合は設定画面が表示される。
- (2)コントロールバー(付箋紙上部)ダブルクリックで付箋紙修飾および作成・削除コマンドが表示される
- (3)付箋紙にフォーカスがある時、[Ctrl]+[Q]を押すと、設定画面が表示される。

Table with columns: 機能, サブ機能, トリガ, 動作, 設定項目, Standard, Professional, 備考, XP. It details various features of the Rundam software, such as starting actions, customization, and keyboard shortcuts.

※DnD=ドラッグアンドドロップ